

箱根組ニュース

第322号 2019年10月号

編集発行人 戸丸悟

箱根組は自然を大切にします！
各自保険に入って山に登りましょう！

本仁田山に8名で登るが、やはり奥多摩らしい手ごたえだった。

幸運にも一日晴天に恵まれる。

9月15日(日) JR東京駅、7時7分発の中央線特別快速高尾行きに乗車。三連休の真ん中にあたる日で車内は乗客が多く、東京駅は始発なので座れたが途中駅から乗った方は混雑していてとても座れなかった。

立川で青梅線に乗り換え、鳩ノ巣駅に9時2分着。

降り立ったのは、有倉、宗像夫人、川名夫人、和田、神山、神吉、西川、戸丸の8名。駅前で身支度とストレッチをする。

目の前の斎場のたたきに一人の登山客の男性が座っていたら「ここに座らないでください」と係の人が追い立てた。登山客に手を焼いているのだろうか、この対応の仕方には残念ながら全く温かみを感じなかった。

9時28分、駅前を右に歩き出す。すぐに右の踏切を渡り正面の山に向かって住宅地の間の坂道を登ってゆく。山の上には青空が広がり秋の日差しが一杯だ。

9時32分、標識に従って斜め左側の

道に入ってゆく。傾斜はますますきつくなつてゆく。キバナコスモスが鮮やかに咲いている。右にお寺の法禅院。少し先の水道局の配水所を通過する。

9時38分、住宅地上の斜面を左に直角に曲がるとそこから山道になる。キバナコスモスがオレンジ色と薄い黄色の二種類が競って咲いている。白く大きな朝鮮朝顔も咲いている。杉の植林地を進んでゆく。

9時48分、左に熊野神社経由で鳩ノ巣駅に下りる道がある。右方向に進む。杉林の上には青空が見えている。

10時33分、大根ノ山ノ神。ここは昔から何度も上り下りで通過している所で懐かしい。今は林道がすぐ上に来ていて空が広いが、昔は林の中だった気がする。一人の男性が林道の川乗山方向から降りて来て戻るように我々が行く山道に入ってしまった。道を間違えたようだ。10時50分発。林道を横切って目の前にある尾根の山に入ってゆく。杉ノ尾根を登ってゆく。

11時11分、右、オオダワ經由川苔



山、左、コブタカ山經由本仁田山の三叉路。左に進む。先ほどの男性はきつと右に行ったのだろう。この地点は鳩ノ巣から2・4キロ、本仁田山まで2・4キロとある。丁度中間点だ。

林はすでに桧に変わっている。斜面の植林地を登ってゆく。

12時6分、道が左にほぼ直角にカーブする地点に本仁田山方面への標識がある。それから先はさらに傾斜のきつい道だ。登り切った尾根がコブタカ山。

12時35分着。だがコブタカ山頂の標識はない。ヤマツプで確認、コブタカ山に違いない。

現在の収支		
繰越入金	43093	円
支出		
印刷費一代	1000	円
コピー代	400	円
現在高	41693	円

切手残数	
82円切手	142枚
40円切手	131枚

食。参加はできなかつたが、川名さんの作ったラッキョウがおいしくて大好評だった。ちよつとだけビールで乾杯。短

めに終わろうとしたお昼だがコーヒーも飲みたいとの事でお湯を沸かす。その前に神吉さんの梅酒を飲みたい人が続出。

2時24分、下山開始。結局1時間強の昼食だった。山頂にはスキが咲いていた。

少し下るとヒノキ林越しに青梅方面だろうか街並みが見え、青空には白い雲がのんびりと浮かんでこれが絶景だった。

足元にはイノシシが掘り返したと思えるところがあちこちにある。ここからはかなり急な尾根が続いて慎重に降りる。

3時32分、道は右に大きく曲がり、傾斜はさらにきつい下りが続く。正面には六つ石山らしき姿が見える。

4時13分、右、乳房観音との分岐を左方向に下りて行く。すぐに民家の横に出る。民家からはモノレールならぬ二本のレールのトロッコのような設備が下の道路にまでつながっている。100mほどの坂道を、荷物を運ぶ

10月20日(日)は奥武蔵の黒山三滝に行きます。
らくだコース 歩行約3時間
(上り1時間25分 下り1時間10分)

東武越生線越生駅からバスで終点黒山。少し頑張つて歩ければ高山不動まで行つて、西武線西吾野駅に向かいます。無理な場合は戻つて黒山から帰ります。

※何か汁物を作ります。

○持ち物 昼食、食器、箸、ポットにお湯、飲料水、非常食、雨具、傘、スパッツ、カップ、タオル、着替え、ヘッドランプ(予備電池)、地図、筆記用具、救急薬品、(痛み止めスプレーなど)、健康保険証、ビニール袋、ちり紙(ロールペーパー等)、予備靴紐、ライターかマッチ、ナイフ、ホイッスル、磁石、他

●申し込み締め切り 10月18日(金)

集合10月20日(日)

東武東上線 池袋駅 7:00発
快速急行小川町行(前から3両目)

途中駅発

和光市 7:12 志木 7:17 川越 7:27
川越市 7:29

坂戸 7:37 着(越生線乗り換え)
7:50 発 越生着 8:11
(バス乗り換え) 8:36 発 黒山行き

交通費 池袋→越生 733円

●お申し込み・お問い合わせ

Tel・Fax/03-3521-6898 戸丸
戸丸携帯 090-4541-7066

携帯メール: satorutomaru@gmail.com

メール: tomarusatoru@hotmail.com

箱根組ホームページ

https://tomarusatoru.wixsite.com/hakonegumi



のに使っているようだ。ここの集落安寺沢の一番奥の民家の様だ。ここから奥多摩駅までの舗装道路が始まっている。

4時17分、この民家の前から奥多摩駅を目指す。赤いツリフネソウが咲いている。

4時40分、林道が右からの道と合流する。奥多摩駅の標識が左を指している。来た道には本仁田山方向と記されている。

る。

4時42分、目の前にコンクリート製の古い鉄道の高架のようなものがある。昔、奥多摩湖の小河内ダムを作るときに資材を運ぶために出来たと聞いたことがある。今もまだその姿を残しているのだ。

4時44分、目の前に橋が現れる。日原川に架かる夫婦橋だ。橋の下の川はいくつも池のように区切られている。ここは氷川国際マス釣り場だ。

4時47分、左側に架かる北氷川橋でもう一度日原川を渡り返す。橋を渡って右側に進むと奥多摩の駅が見えてくる。左上には電車が止まっているのが見える。

駅に着くとすぐに出発のホリデー快速東京行きがホームにいることがわかる。着替えることもできなかったが、直通の東京行きは逃すわけにはいかなかった。慌ただしいままに電車に乗り込む。解散の挨拶もしないで東京に向かう。ラインやメールでみんなに挨拶して、打ち上げもないまま一日を終える。

でも満足の本仁田山でした。打ち上げはまた次回以降のお楽しみ！



